





巻頭

「太田和泉守記」表紙

名古屋市蓬左文庫 HÔSA LIBRARY, CITY OF NAGOYA

江戸の自然観察

突地名苑真景草木虫魚写生図巻 (徳川美術館蔵)

東京の築地付近は、江戸時代には江戸湾に臨んだ風光明媚な地で、尾張家は潮入の池 を備えた庭園のある蔵屋敷を構えていた。庭園に生息する、さまざまな植物、昆虫・魚類が 克明に描かれている。

張州雜志 内藤東甫編 100冊のうち

尾張藩士内藤東甫(正参)が、 尾張家九代宗睦(1733~99)の 内命により編纂した、絵入りの尾 張地誌。領内の産物や風俗に詳 しく、巻九十七から巻百は春日井 郡産物として、動植鉱物の図が 掲載されている。図は、カワウソ。



めの第一歩といえます。 今より数百年も前の江戸時代には、動物・植

にとって当たり前のことであり、自然をよく知るた れ親しむという行為は、自然界に生きている人間 っしゃることでしょう。身近な自然に目を向け、

[察日記をつけたという経験をした方は大勢いら

夏休みに昆虫や草花を採集したり、アサガオの

真摯に向き合い、対象を正確に観察、 れた本草学・博物学の書物や図譜などは、自 博物学へと広がりを見せました。数多く生み出さ や自然現象にも関心を向け、研究対象が拡大し、 がて蘭学の影響を受け、動物・植物・鉱物そのもの となり得るものすべてを探求する学問ですが、や 基を作りました。本草学は、本来自然界にある薬 差しを注いだ人々がいました。彼らは本草学者に 鉱物など、自然界のありとあらゆるものに熱い眼 えてくれます。 ようとした先人たちの熱意、興味、驚きを今に伝 物学者)と呼ばれ、現在に通じる近代自然科学の 、把握、 研

がたを紹介します。 から、海外の珍奇な動植物に至るまで、江戸時代の 人々の旺盛な眼差しによって捉えられた自然のす 本など初公開の作品をはじめ、身近な日本の自然 尾張十四代の藩主徳川慶勝が収集した昆 虫標

2

国絵図と城絵図

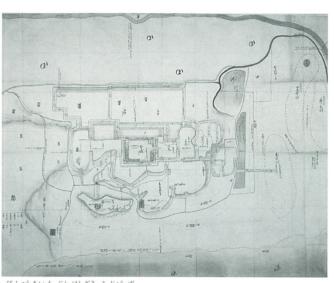
にあることを明確に示す行為でもありました。 江戸幕府は諸藩に対し、日本全国六十余国におよぶ国単位の区切りで地図(国絵図といいます) およぶ国単位の区切りで地図(国絵図といいます) およぶ国単位の区切りで地図(国絵図といいます) にあることを明確に示す行為でもありました。 江戸幕府は諸藩に対し、日本全国六十余国に江戸幕府は諸藩に対し、日本全国六十余国に江戸幕府は諸藩に対し、日本全国六十余国に江戸幕府は諸藩に対し、日本全国六十余国に

幕府の支配を強く印象づける行為であったと思わりですから、国絵図の提出以上に、諸藩に対するりですから、国絵図の提出以上に、諸藩に対するの居城の縄張り絵図の提出も命じました。城第の図面という高度の軍事機密を提出させたわまた。 東京であったと思われます。

図や各地の城絵図を収集したりしました。
また領内の城郭の管理も軍事上重要であるため、また領内の城郭の管理も軍事上重要であるため、また領内の城郭の管理も軍事上重要であるため、

尾張徳川家には、こうした経緯から作成・収集

中心にご紹介します。初公開の大型絵図である尾張国絵図をきました。今回の展覧会ではその中から、された多くの国絵図と城絵図が伝来して

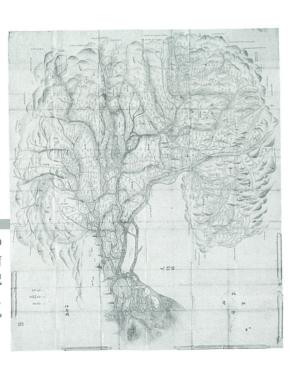


でしゅうあいち くん ほしざき こ じょう ザ 尾州愛知郡星崎古城図(縦196cm×横287cm)

江戸時代はじめには廃城となっていた星崎城の城絵図である。現在の名古屋市南区本星崎本城あたりにあった。 非常に巨大な城絵図で、なぜこれほど大きくかつ詳細な 図面として作成されたのか、その経緯は不明である。



尾張藩の領地高約六十二万石のうち、五分の一の十二万石余りがあった美濃国の国絵図である。南方(下方)に、国境を接する尾張国と伊勢国の表記が見える。国内は郡ごとに境界が色分けされており、村々は白い楕円によって示され、村々をつなぐ街道や河川も詳細に記されている。



秋季特別 展

ざまな絵本がありました。 絵師の筆になる作品もある一方で、素朴でユーモラ お伽草子」と呼ばれる物語は、絵巻や挿絵入り)冊子などの形で絵画化されてきました。専門の 代の日本にも、 室町時代から江戸時代にかけて広く流布した 人々に親しまれ、 今から四、五百年ほど遡る 愛されたさま

子」の特徴的な一面であると言えるでしょう。そ うした、動物や虫、器物たちの描写には、さまざ を悟って出家する話や、玉虫の姫君に蝉やきりぎ 語などさまざまです。中でも、猿や雀が世の無常 ブストーリーや、ヒーローが活躍するアクションも して親しまれている「浦島太郎」や「一寸法師 貧しい身の上から一転、裕福になる立身出 の内容は多岐にわたり、現代でも昔話と 「異類物」と呼ばれる物語群は 困難を乗り越えて幸せな結婚に至るラ 身の回りの古道具が妖怪 人間以外が主役となる つお 加草 世

どのほか、

スな絵も多く、魅力の一つとなっています

語

掃墨物語絵巻 重要文化財 室町時代 (徳川美術館蔵)

若い僧の訪れを待つ娘は、眉墨と白粉を間違えて化粧してしまいます。僧は黒い顔を見て鬼と思い 逃げ出し、世の無常を悟った娘は出家するという物語。この場面は、驚いた母君が鏡を見せて、今 度は娘がびっくり仰天するところ。「画中詞」と呼ばれる台詞が書き込まれています。

- (母)すはかぶみにてかほ御らんぜよ(鏡で顔を見てご覧なさい!)
- (娘)あれはなにぞや、まことに鬼になりて候かや、心はまだ人にて候物を、あらおそろしおそろし (これは一体何?本当に鬼になってしまったのかしら、心はまだ人間なのに…なんと恐ろしいこと!)



かくもがみえ 付喪神絵 室町時代(岐阜 崇福寺蔵)

人間に捨てられた古道具たちが付喪神という妖怪になり、 人々に復讐するが、やがて悪行を悔いて出家し、成仏す るという物語。図版1は道具たちが、長年の奉公が報わ れず捨てられたことを恨んで、仇討ちを企てる場面。左 下には、復讐を戒めた数珠の「一蓮」が、手棒の「あら太 郎 | に打たれているところが描かれています。図版2は、 妖怪に化けた道具達が人間を襲って復讐を果たし、宴 会を開いて碁や双六などの娯楽に興じているところ。





図版2▶

いわゆる

に化けてしまう話など、

すが思いを寄せる話、

きないものを、目に見える形で表そうとする旺感 言える表現が見られ、実際には目にすることので どの異界を表した挿絵の中には、奇想天外とも まものに魂が宿ると考えた当時の人々のまなざ な想像力には驚かされます。 しが感じられます。また、鬼・妖怪のほか、龍宮な

文庫・徳川美術館が所蔵する、尾張徳川家の姫君 破草紙」(室町時代 京都 細見美術館蔵)や、蓬左 代のマンガを思わせる表現には、人々の会話が聞こ 書き込まれた作品も紹介します。そうした、現 たちの調度本など、約六十点あまりを展示予定 義澄が十五歳の時に所持していたと知られる「硯 えてくるかのような面白味があります。そのほか 「小絵」と呼ばれる小さな絵巻で、足利十一代将軍 今回の展覧会では、絵の傍に登場人物の台詞が

かし話の豊かな世界に、遊んでみませんか。 笑いあり、涙あり、驚きあり -描かれた日本む

〈主な展示予定作品〉 浦島太郎絵巻(室町時代

文正草子絵巻(江戸時代 徳川美術館蔵 御伽文庫(渋川版)二十三編揃(江戸時代 百鬼夜行絵巻 狩野興也筆(江戸時代

中京大学蔵

くさ物語 (江戸時代

蓬左文庫蔵)

ほか約六十点展示予定

虫妹背物語絵巻 住吉如慶筆(江戸時代 京都 細見美術館蔵

地蔵堂草紙(室町時代 個人蔵)

弁慶物語絵巻(室町時代 個人蔵) 稚児今参り絵巻(室町時代 個人蔵)

かみよ物語絵巻 室町時代 (西尾市岩瀬文庫蔵)

神代の昔、彦火々出見尊が龍宮を訪れ、 そこで得た不思議な力によって日本国を 治めたという物語。海幸彦・山幸彦の神 話として知られています。彦火々出見尊 が乗るワニの姿がなんともユーモラスです。



室町時代 (西尾市岩瀬文庫蔵)

大切に育ててきた小雀を蛇に呑まれてしまった雀夫 婦が、世の無常を悟って出家する物語。途中、さまざ まな鳥たちが夫婦を慰めるために和歌を詠む場面も あります。





だいこくまい大黒舞 江戸時代

尾張徳川家六代継友夫人 光雲院安己 君(1704~25)の蔵書。

異国へのまなざし

日本には多くの美術工芸品が古くから輸入されてきました。 隣国の高麗朝鮮、中国のみならずれてきました。 隣国の高麗朝鮮、中国のみならずれてきました。 とでも、長崎貿易を通じて開かれていました。 とでも、長崎貿易を通じて開かれていました。 に輸入された珍しい高価な品という意味でした。 日本からの海外への輸出品は銅や金、海産物など 中心で、反対に絹や木綿、毛織物、ギヤマン、唐 が中心で、反対に絹や木綿、毛織物、ギヤマン、唐 本、医薬品など多種多様の品々が輸入されました。 日本からの海外への輸出品は銅や金、海産物など 本、医薬品など多種多様の品々が輸入されました。



金唐革鏡覆 ハンス ル・メール作 (徳川美術館蔵)

ざまな輸入品や情報をご紹介します。

本展では、

江戸時代の尾張徳川家に伝来したさま、技術も豊富にもたらされていました。

られてきました。また幕府が独占していた海外知徳川家では珍しい輸入品が多数もたらされ、用い

とりわけ将軍家に次ぐ高い身分であった尾張

「異国」を感じとっていたのです。

二つ折りにたたむ手鏡の覆い。尾張徳川家二代光友夫人の千代姫の所用品。ガラスの鏡は割れてしまったのか失われている。ヨーロッパで流行した図柄のドルフィンや 唐草文様が描かれ、右側の細部に「H・L・M」のモノグラムがある。オランダの金唐革作家のハンス ル・メール (1634-70) の作と判明する。



環海異聞 大槻玄沢著 3冊のうち

ロシアに漂着した仙台藩の船頭からの聞書きを蘭学者の大槻玄沢が文化4年(1807)にまとめた書。ロシア皇帝アレキサンドル I世(1777-1825・右頁)その母マリア(1759-1828・左頁)の肖像が色彩豊かに描かれている。

尾張藩の兵学



長沼流兵学伝授は、「兵要録」の講習が中心であった。慶勝は、14代尾 張藩主として、同藩の軍制改革に長沼流を採り入れた。



続けました。尾張藩では、藩士近松茂矩(二六九七 入れて論理性に優れていたので、幕末まで発展を 流兵学は、儒学を基礎に、中国・明の兵学も採り

一七七八)が長沼流を藩内に伝えたのち、兵学教

城取図解 5巻のうち 寛政9年(1797)奥書 伊藤景的著 同鶴之進画

尾張藩士で兵学者の伊藤景的が、 城取(築城)の要点を図解し、尾張

と呼ばれた軍事研究が盛んでした。また、尾張藩

|戸時代の武士の本分は軍事にあり、「兵学_

藩主を指揮官とする軍団という性格を本来

成や指揮について学んでおく必要がありました。

持っていましたから、藩主以下日頃から部隊の

藩に提出したものと思われる。

について紹介します。 じめ、布陣図、 育や軍制改革に大きな影響を与えました。 尾張藩で盛んに学ばれた長沼流の兵学書をは 、行軍図、 、城郭図など尾張藩の兵学

づく越後流など多くの流派が生まれました。

長沼宗敬 (1六三五~九○) を始祖とする長沼

県)の戦国大名武田信玄の用兵に基づく甲州流 期に学問として体系化されました。甲斐国(山 にはじまり、戦国時代の戦乱を経て、江戸時代初

などの研究をします)は、古代中国の兵書の研究

日本の兵学(「軍学」ともいいます。用兵・戦

越後国(新潟県)の戦国大名上杉謙信の用兵に基

 \mathbb{H}

信長の天下

・制覇の記録である『信長

太田牛一

一が著

述

した軍記のなかでは

公記

』十六巻がもっとも有名ですが、

和泉守記」

b

同時代人である牛一

一の残

です。本書の奥書(写真)によれば、慶長十

た関ヶ原合戦の記録として大変貴

|年に志水小八郎忠宗(のち尾張藩家老

基に、

織

田

信長・豊臣秀吉・同秀次・同

·徳川

家康五代の軍記の著述に専念

たが、隠退後は日頃書き留めた記 言・秀頼父子に奉行などとして仕えま 長秀の右筆となりました。さらに豊臣

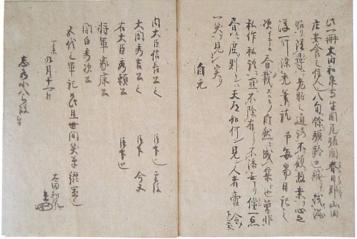
録を

までが記されています。 記 張国 :北区)に生まれ、はじめ又助を称し、 役平岩親吉の尾 長 国 戦 著者太田牛一は、大永七年(二五二七 を中心に、 紅紙の 十二年初代尾 一会津城主上 関 慶長五年(一六〇〇)九 春日井郡山田荘安食村(名古 原御合戦双紙」ともよば (太田 同 和泉守記 杉 年の徳川 張 張 景勝 玉 藩 清 主 征 一徳川 は、 須 世代に始 家康による陸 入城に至る 月の関ヶ原 義直の守 関 れるよ ケ原 まり 晚 軍

ものです。 ますので、是非ご覧下さい 0 人たちの時代 ために、 七月二十二日 なお、本書は 八十 徳川 歳の牛 信長·秀吉·家康 九 月 美 術館 三日 一自らが書写した 企 画 出 展 品され

示

天



「太田和泉守記」 奥書

蓬左文庫

名古屋市蓬左文庫 〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001番地 TEL(052)935-2173 FAX(052)935-2174 ホームページ http://housa.city.nagoya.jp/ 〈蔵書検索ができるようになりました。〉 交通案内

年には和泉守を名乗りました。織田

いに仕えて弓衆として活躍したのち、

丹

信

- ■公共交通機関をご利用の場合
- ●名古屋駅より

【市バス】 名古屋駅バスターミナル (テルミナ2F) グリーンホーム7番のりば基幹2号系統、「徳川園新出来」下車徒歩3分

【名鉄バス】名鉄バスセンター(メルサ3F)4番のりば基幹バス「引山」方面行「徳川園新出来」下車徒歩3分

【 J R 】JR中央本線、「大曽根」下車南出口より徒歩10分

【地下鉄】 東山線「藤が丘」方面行、「栄」で名城線「右回り」に乗り換え「大曽根」下車3番出口より

●栄より

蓬左文庫専用駐車場はありません。徳川園駐車場(有料 30分 120円)をご利用下さい。

徒歩15分 桜通線「野並」方面行、「車道 | 下車①番出口より徒歩15分 蓬左文庫 伏見 【市バス】 栄バスターミナル(オアシス21)3番のりば基幹2号系統、「徳川園新出来|下車徒歩3分 ■お車をご利用の場合 地下鉄鶴舞線

ご利用案内

- ■休館日/月曜日(祝日のときは直後の平日) 12月中旬~1月3日 ※催事により変更することがあります。
- ■展示室/有料 一般:1200円 高大生:700円 小中生:500円(蓬左文庫·徳川美術館 共通観覧) 【開室時間】午前10時~午後5時(入室は午後4時30分まで)
- ■閲覧室/無料·館外貸し出しはいたしません。

【閉架図書】午前9時30分~午前12時 午後1時~午後5時 【開架図書】午前9時30分~午後5時

【複写サービス】保存など支障のない範囲で、CD・Rからのプリントアウトまたはマイクロフィルム複写などの方法により行います。電話・郵便による申込みも可。

「蓬左」第71号 ☆平成18年7月26日発行 ☆編集·発行:名古屋市蓬左文庫 ☆無料 ☆不定期刊行 ☆印刷:菱源(株) ※この冊子は再生紙(古紙配合率100%、白色度80%)を使用しています。

